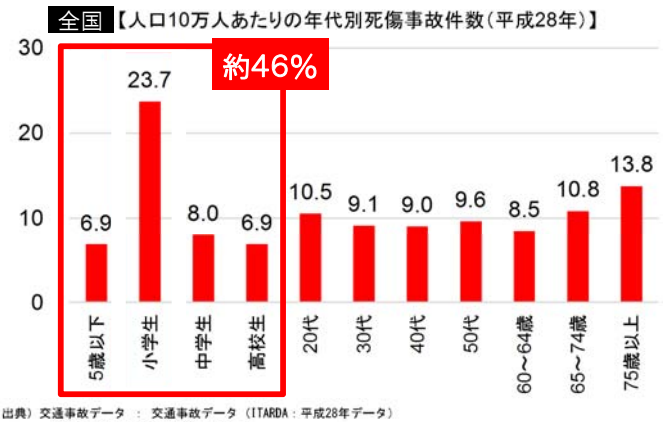
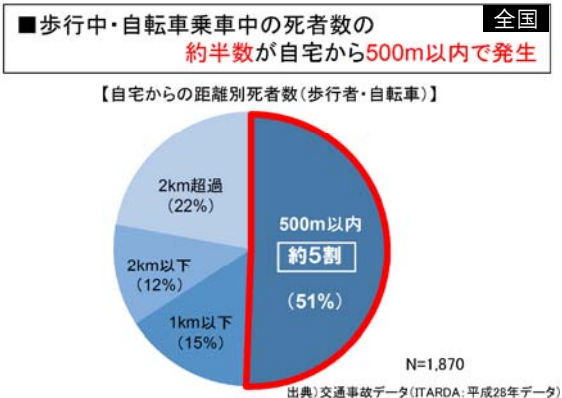


参考資料1 生活道路の対策の現状と課題

- 全国の歩行中・自転車乗車中の死者数は**自宅から500m以内が約51%**、人口10万人あたりの**死傷事故件数は高校生以下が約46%**
- 生活道路対策エリアの登録※とともに、**地方自治体が主体的に取組を実施**(国等による情報提供、支援)
- ※:群馬県では3箇所が登録(前橋市文京2丁目地区、高崎市上中居地区、高崎市浜尻地区 平成30年5月時点)



対策メニュー例

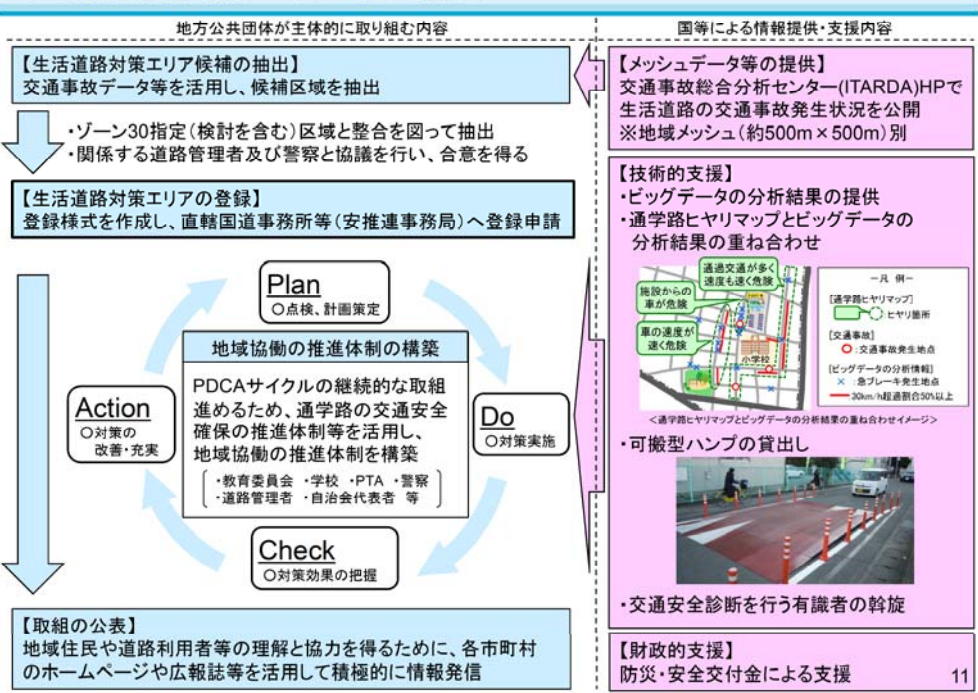
○公安委員会により実施される交通規制、交通管制及び交通指導取締りと連携

ゾーン30 (都道府県公安委員会)

歩行者・自転車の空間を優先して確保する (イメージ)

歩行者の空間を確保する (歩道橋、路肩のカラー舗装)

「生活道路対策エリア」の取組フロー



生活道路・通学路の交通安全対策の取組をお手伝いします。

国土交通省では、文部科学省・警察庁と連携して生活道路・通学路での交通事故の削減に向け取り組んでいます。
ビッグデータを活用したヒヤリ・ハット情報の提供や、点検・対策の検討における専門家の斡旋、ハンプの貸出しなど、ご要望に応じて対応します。

※「生活道路対策エリア」に登録された区域が対象です。

支援メニュー

- ビッグデータを活用したヒヤリ・ハット情報の提供
- 点検・対策の検討における専門家の斡旋(技術的な助言)
- 可搬型ハンプの貸出し

①ビッグデータを活用したヒヤリ・ハット情報の提供

②点検・対策の検討における専門家の斡旋(技術的な助言)

③可搬型ハンプの貸出し

■輸送時の荷姿

■設置例(2セット使用時)

国土交通省による支援事例

国土交通省の支援メニューの活用による取り組みが広がっています。

○ビッグデータの分析結果の提供

○専門家の斡旋

■ワークショップ

■現地点検

○ハンプの貸出し

佐原東俊市 岐阜県大垣市 広島県福山市

＜関係情報はこちらへ＞

■生活道路の交通安全対策に関するポータルサイト
<http://www.mlit.go.jp/road/road/traffic/sesaku/anzen.html>